

こんな要望・提言などが寄せられました

皆さんのが市政に反映させ、市民と市の連携によつて街づくりを進めようと、市では、「市長への手紙」、「HOT函」を設け、皆さんからのご意見、提言、要望をいただいています。昨年から今年にかけて皆さんから寄せられた中から、その主なものの要点とそれに対する回答を紹介します。

下町橋が狭く危険

要望

①下町橋の交通量が多く、歩行者は大変危険な状態です。時間制限付きの「車両通行止」にするとか、「一方通行」にできないものでしようか。

②下町橋は狭く、危険です。拡幅してもらえないでしようか。

下町橋は近年交通量が飛躍的に増加しており、ご指摘の状況を十分認識しているところです。この解消策として、短期的には①でご指摘の交通規制が、長期的には②でご指摘の拡幅やバイパスの整備が考えられます。

①について、平成七年に交通量を調査したところ、車両、自転車及び歩行者とも通行量が相当数あります。さらに、北進、南進による差があまりなく、時間的にも平均していました。

したがって「車両通行止」や「一方通行」を実施すると、他の路線に影響が出るものと思われ、実施は困難と考えています。

また、このデータをもとに、時間を区切つての信号方式について大館警察署と協議しましたが、渡り終えるまでに一分以上かかる個所への信号設置はできないとのことです。以上のようなことで、交通規制などでの、今すぐにできる混雑の

緩和のためには、ご指摘の道路の拡幅整備の前に、市内の内環状線の一翼となる、通称東バイパス（東台郵便局付近から樹海ラインまでを結ぶ道路）の整備を優先していくことになります。

度この道路について測量を実施しているところです。

このようなことから、ご指摘の拡幅整備については、計画はされているものの、現段階では事業化のめどが立つていない状況にあります。この道路を利用されている方には大変ご不便、ご迷惑をおかけしておりますが、市道路行政についてご理解いただきたいと思います。

◆下町橋の交通緩和、拡幅については今回の手紙のほかにもよく

耳にします。単なる通過者は別にして、生活道路として利用されている地元のかたにとつては本当に迷惑なことでしょう。回答にあるとおり現段階では何もできません。現在この橋を利用されているかた、若干の時間的な短絡路線として利用されるならば、どうかルートを変えてもうまいでしょうか。お願いします。

学校教育を充実させて

要望

塾に通う小・中学生が多すぎる。学校での授業内容が乏しいためではないでしょうか。充実させてください。

回答

ご指摘の授業内容が乏しいということについては、授業で教えるべきことが少ないということと、教師の指導の仕方がまずいといふ二通りが考えられます。授業内容については、昔と違った内容がかなり豊富になっていて、むしろ多過ぎるのではないかという意見もございます。

教師の指導の仕方については、若い教師からベテランの教師までいろいろなレベルの教師がおりますので、市（教育委員会）といった